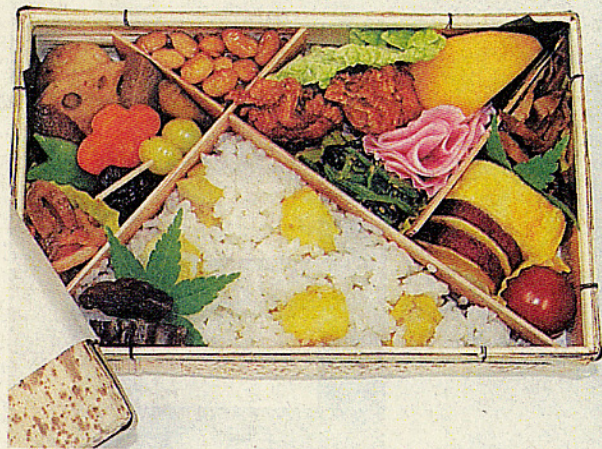


うきは発 駅弁快走



棚田米・シイタケ・クリ・山菜
田舎の懐かしさぎっしり

うきは市の住民が作る「うきはのほっこり弁当」が来
年1月9日までの奇数日、JR鹿兒島・久大線を走る特
急「ゆめDX2号」「同3号」で販売されている。今回は
期間限定の販売だが、市や観光関係者は「駅弁への本
格採用を目指していく。久大線や来春開業する九州新
幹線の目玉弁当になれば」と期待している。(小浦雅和)

特急で完売、定番化期待

作っているのは同市浮羽町田籠、新川地区の婦人会
のメンバーなどで作る「うきはほっこり弁当の会」(大
力英行会長)。市が進める森林セラピー事業でモニタ
ツアー客に出していた弁当に、ツアーに参加したJR
の社員が注目し、「駅弁化」を市とともに検討してきた。
弁当の内容は季節によって変わるが、市特産の棚田
米、フルーツ、シイタケ、クリ、山菜、県内産の肉、
魚を使用。パッケージは竹の皮や薄く切ったスギを使
う＝写真。田舎っぼく、どこか懐かしさを感じられる
ようにしたという。

奇数日の午前8時19分大分発博多行ききの2号がうきは
駅に停車した際に6個程度を積み込み、午後0時18
分博多発大分行ききの3号では全区間販売する。価格は
千円。市農林・観光課は「7日の販売開始以降、完売
状態。人気が高まり安定供給が必要になれば、地元経
済の活性化にもつながる」と話している。